

令和 3 年度東広島市スポーツ推進審議会の開催報告について

- 1 日 時 令和 4 年 3 月 23 日（水）10:00～11:35
- 2 場 所 市役所本館 3 階 303 会議室
- 3 議 題 (1) 令和 3 年度東広島市スポーツ関係事業報告について
 (2) 令和 4 年度東広島市スポーツ関係事業計画について
 (3) 学びのキャンパス推進事業におけるスポーツ施設の聖地化・特徴化について
 (4) 中学校の運動部活動に係る地域との連携について

4 主な意見等

(1) 令和 3 年度東広島市スポーツ関係事業報告について

委員からの意見	意見に対する回答
令和 3 年度の部活動支援事業について、中学生への運動部・文化部への支援の割合はどの程度であったか。	運動部、文化部を比率にすると 3:1 となっている。文化部活動については、大会が縮小されたため、運動部への支援が多くなっている。（指導課）

(2) 令和 4 年度東広島市スポーツ関係事業計画について

委員からの意見	意見に対する回答
部活動助成事業の予算が昨年度と変わらないが、予算は増額しなくてよかったか。	大会の派遣費については必要に応じて補正予定。子ども達の出場機会を保証するとともに、保護者の費用負担軽減に努めていく。（指導課）
学校開放事業について、予算が減少しているが、いくつかの小学校が廃校になる関係か。	統廃合により委託費が減少される関係もあるが、主な減額の要因はコロナにより中止となったプール開放事業におけるプール監視員の報酬減額によるものである。（スポーツ振興課）

(3) 学びのキャンパス推進事業におけるスポーツ施設の聖地化・特徴化について

委員からの意見	意見に対する回答
説明の中で、志和地区でペタンクをすることは、いいことであるがその場合は、西志和小学校が対象となるのか。	現時点では、どの学校で何の競技を聖地化・特徴化するかは決まっていない。今後調査を行った上、位置づけを出していきたい。（生涯学習部長）

(4) 中学校の運動部活動に係る地域との連携について

委員からの意見	意見に対する回答
部活動が民間委託化されれば、家庭の経済格差によってスポーツができない子どもがでてくる。また、競技人口の格差から廃れていく競技もでてくる。市としては、どのように対応していくのか。	本市として教育資源を有効活用するため、大学や地域と連携した今後の部活動のあり方について模索している。具体的な取り組みについては、今後検討予定。（指導課）